

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年04月01日

計画の名称	五領川公共下水道における下水道施設の防災・安全向上計画（防災・安全）												
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	五領川公共下水道事務組合												
計画の目標	下水道施設の防災、安全対策を進め、安全で安心な暮らしを実現し、良好な環境を創成する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	828	A	828	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3当初	R5末	R7末
1	R7末までに処理場のストックマネジメント計画に基づいた対策率を0%(R3)から100%(R7)に向上させる。 R7末までにストックマネジメント計画に基づいた対策が必要な処理場設備の対策率 ストックマネジメント計画に基づいた対策済み処理場設備数（設備） / R7末までにストックマネジメント計画に基づいた対策が必要な処理場設備数（20設備）	0%	50%	100%
2	処理場施設の耐震化率を10.0%(R3)から25%(R7)に向上させる。 R7末までの処理場施設の耐震化率 耐震化済みの処理場施設数（箇所） / 耐震化すべき処理場施設数（8箇所）	10%	20%	25%
3	永平寺町との下水道事業の持続的な運営に向け、実現性のある共同化事業を促進、効率化を図り、広域化・共同化の達成率を0%（R3）から100%（R7）に向上させる。 広域化・共同化事業の達成率 広域化・共同化による事業の実施数 / 実現性のある広域化・共同化事業数（2事業）	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中核都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	五領川公 共下水道 事務組合	直接	五領川公共 下水道事務 組合	終末処 理場	改築	五領川浄化センター処理 場施設ストックマネジメ ント計画に基づいた対策	土木・建築・機械・電気（改 築更新・実施設計）	五領川公共下水 道事務組合	■	■	■	■	■	690		策定済	
	A07-002	下水道	一般	五領川公 共下水道 事務組合	直接	五領川公共 下水道事務 組合	終末処 理場	改築	五領川浄化センター耐震 化対策	管理棟・水処理棟他（診断・ 対策）	五領川公共下水 道事務組合	■	■	■	■	■	83		—	
	A07-003	下水道	一般	五領川公 共下水道 事務組合	直接	五領川公共 下水道事務 組合	終末処 理場	改築	広域化・共同化事業	広域化・共同化事業	五領川公共下水 道事務組合	■	■	■	■	■	55		策定中	
											小計						828			
											合計						828			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

五領川公共下水道事務組合にて実施

事後評価の実施時期

令和8年4月

公表の方法

五領川公共下水道事務組合のホームページに記載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・下水道施設の機能確保と重大な事故発生や機能停止を未然に防止し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえた計画的な改築を効率よく行うことが可能となった。
・処理場の主要な施設の耐震化率が向上し、地震災害時の被害を最小限に抑え、処理機能の確保が可能となった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

他地方公共団体（永平寺町）と広域化・共同化によるスケールメリットを活かし、広域での下水道台帳システムの構築することにより、維持管理情報の蓄積や閲覧、災害時の支援や復旧調査が可能となった。また、2つの処理場を遠隔監視システムの導入により維持管理費のコスト縮減に努めることが可能となった。

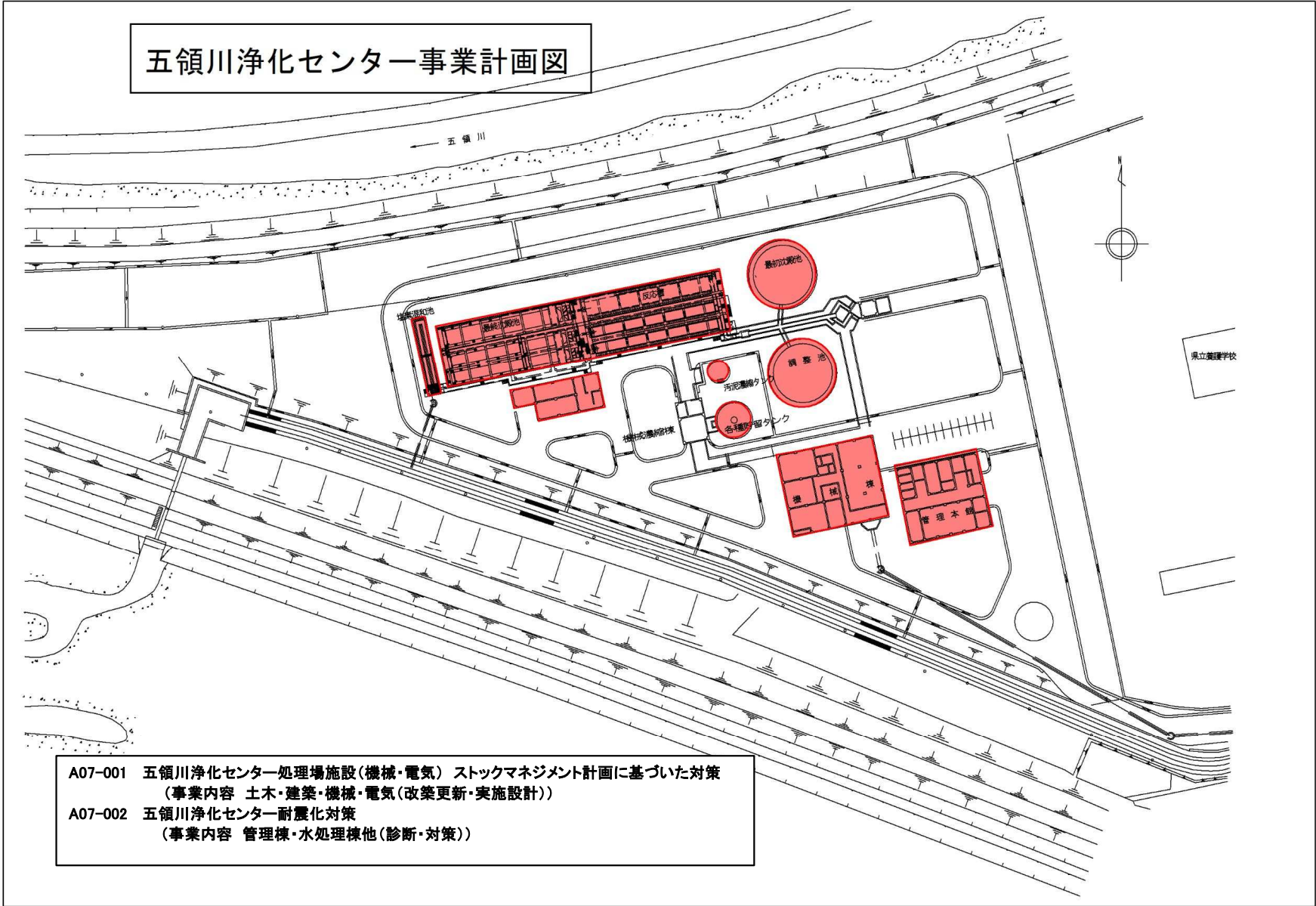
○特記事項（今後の方針等）

・今後も引き続き、下水道施設の機能確保と重大な事故発生や機能停止を未然に防止し、ライフサイクルコストの最小化、予算の最適化の観点も踏まえた計画的な改築を効率よく実施していく。
・処理施設の耐震化を推進し、「揚水」「沈殿」「消毒」といった最小限の処理機能の確保が図られるよう引き続き耐震化を推進していく。
・より一層の広域化・共同化を展開し、スケールメリットを活かしコスト縮減に取り組んでいく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
ストックマネジメント計画に基づいた対策済み処理場設備数（設備）／R7末までにストックマネジメント計画に基づいた対策が必要な処理場設備数（20設備）		
2	最終目標値	25%
	最終実績値	25%
耐震化済みの処理場施設数（箇所）／耐震化すべき処理場施設数（8箇所）		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
広域化・共同化による事業の実施数／実現性のある広域化・共同化事業数（2事業）		

計画の名称	五領川公共下水道における下水道施設の防災・安全向上計画（防災・安全）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	五領川公共下水道事務組合

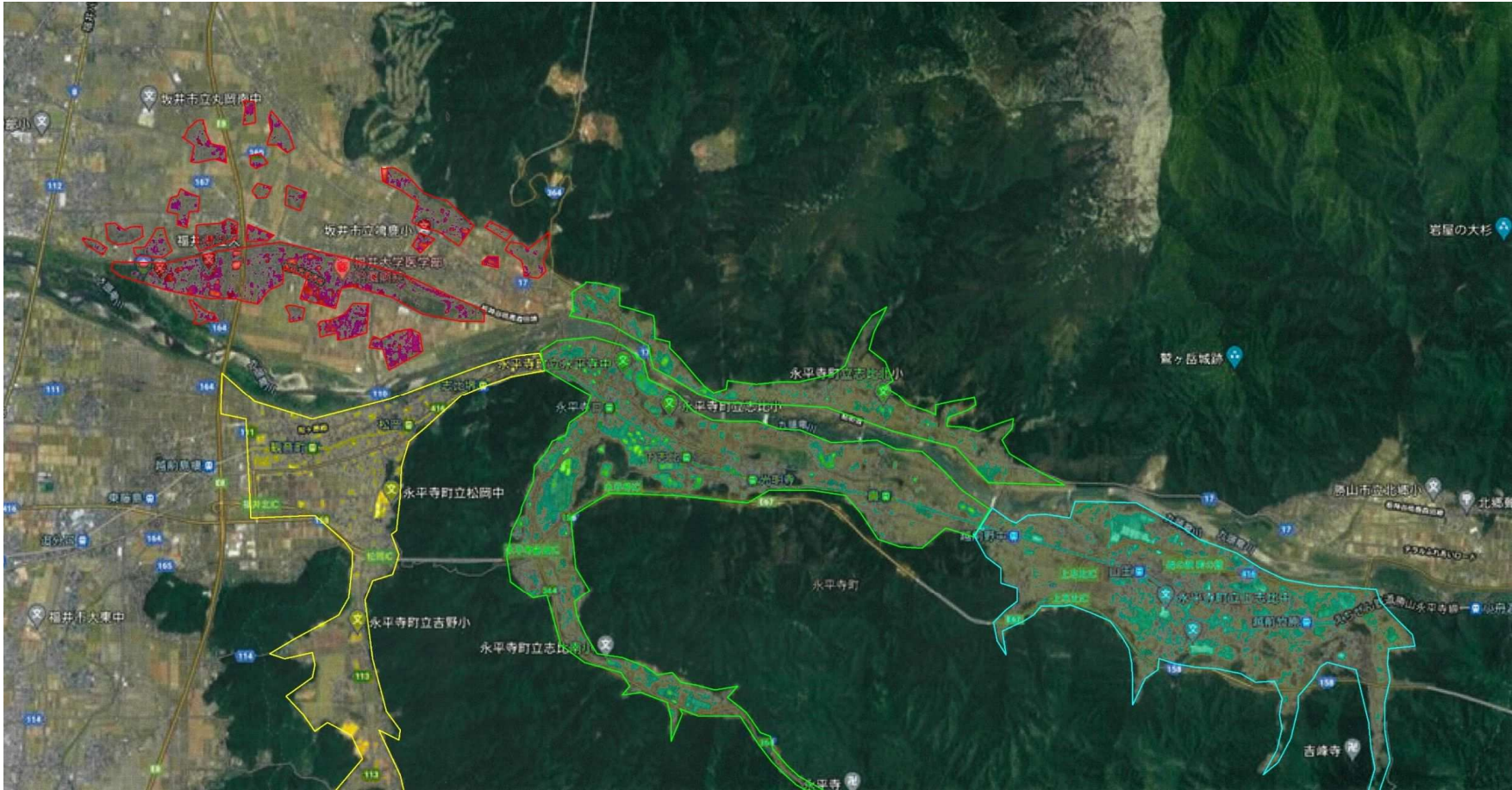
五領川浄化センター事業計画図



- A07-001 五領川浄化センター処理場施設(機械・電気)ストックマネジメント計画に基づいた対策
(事業内容 土木・建築・機械・電気(改築更新・実施設計))
- A07-002 五領川浄化センター耐震化対策
(事業内容 管理棟・水処理棟他(診断・対策))

計画の名称	五領川公共下水道における下水道施設の防災・安全向上計画（防災・安全）		
計画の期間	令和3年度～令和7年度（5年間）	交付対象	五領川公共下水道事務組合

広域化・共同化事業



**A07-003 永平寺町との下水道事業の持続的な運営に向け、実現性のある共同化事業を促進、効率化を図る
広域化・共同化事業**